

【6月の休館日】
1日(土) 4日(火) 11日(火)
18日(火) 25日(火)

毎月1日・毎週火曜日は休館です。

福智町図書館・歴史資料館 ふくちのち ふくちのち便り

開館時間 10:00-19:00 / 福智町赤池 970-2 / ☎ 28-2855



ふくちのちイベント

- ◆大人の折り紙教室
6/5(水) 10:10-12:00
- ◆おはなし会 乳幼児向け
6/6・20(木) 11:00-11:30
- ◆ぶらんこさんのおはなし会
6/8(土) 11:00-11:30
- ◆上映会 大人向け
「猫侍」
6/8(土) 14:00-15:45
- ◆BOXフラワー講座 ¥
6/9(日) 13:30-14:30
- ◆おはなし会 子ども向け
6/9・23(日) 14:00-15:00
- ◆赤いふうせんさんのおはなし会
6/15(土) 11:00-未定
- ◆上映会 子ども向け
「おじゃる丸 マロのゆかいな世界」
6/15(土) 14:00-14:45
- ◆子どもの折り紙教室
6/22(日) 11:00-11:45

¥…有料 …要申込

我が町を描いた美しい水彩画をもう一度 企画展『福智五十八景』

前年の好評を受け「福智五十八景」の企画展を今年も開催。メジャー歌手のCDジャケットを手がけるなど、福岡県を拠点に活躍するイラストレーター・大嶋さち子氏が、町内の地域資源を水彩画イラストで描写。思わず足を止めたくなる美しい作品の数々をお見逃しなく。

期間▶6月2日(日)~30日(日)
場所▶1階 企画展示室



▲58点に及ぶ作品を一挙公開します。

子どもたちならではの視点から考えよう 児童・生徒の人権作品展

7月の福岡県同和問題啓発強調月間にあわせ、市場小・赤池中の児童生徒が制作した人権作品を展示します。子どもたちが一生懸命に制作した作品を鑑賞しながら、人権について見つめ直してみませんか。

期間▶6月28日(金)
~7月31日(水)
場所▶1階 ワクワクワ広場

同和問題啓発強調月間とは

日本の歴史的過程の中で形成された人権問題について、正しい知識と認識を深め、解消していくことを目的とした県内の啓発活動強化月間のこと。



▲児童・生徒たち渾身の作品を展示します。

翌月のイベントを少しだけ紹介! 来月のふくちのちは…!?

- クラモト花店 ワークショップ
- 平和企画展

※内容は変更になる場合もあります。詳しくはお問い合わせください。

NEXT MONTH INFORMATION

新着本

幻の彼女
酒本歩/著 (光文社)

現代湯治
全国泉質別温泉ガイド
日本温泉科学会/監修 (淡文社)

チコちゃんに叱られる
NHK「チコちゃんに叱られる!」制作班/編 (小学館)

科学でアートを見てみたら
ロイク・マンジャン/著 (原書房)

児童書

くもとそらのえほん
五十嵐美和子/作・絵 (PHP研究所)

いまのわたしにできること
リサ・パップ/作 (WAVE出版)

かわいいパッケージクラフト[2]
平田美咲/作 (汐文社)

文房具を使いこなす④
WILLこども知育研究所/編 (フレール館)

福智の風

▶防災は普遍のテーマですが、どうすればより深く伝わるかを考え、朝倉市の取材を企画しました。現地案内や資料提供など、多大な協力を頂いた今回の特集。悲惨な災害を実体験した方々の言葉にはどれも重みがあり、「伝えたい」という思いを強く感じました。全員が繰り返していた事前の準備と早めの避難の重要性。昨年は町にも大きな危機がありました。この特集で少しでも何かを感じて頂き、身を守る助けになればと思います。(田代)

▶先月ふくちのちで開催された「~書を想う~藤本祥鴻遺墨展」の取材時に妻の鈴子さんが藤本先生の生涯を「自分が信じた書の道をひたすらに生きた人生だった。書は(祥鴻氏が)生きた証です。」と一言。表現者としての教訓が凝縮されたこの一言が、今でも心に残っています。まだまだ広報ひよこの私ですが、いづれは誰かの心に残るような広報紙を制作できるように自分なりの表現を追求していきたいと思っています。(藤本)

鬼杉赤池俳句教室
名城の金の鯨 風光る
桔梗の芽すでに気品の濃紫
夕おぼろ笑って済ます物忘れ
ふきのたう 苦くも甘き恋の味
磯桶に海の青さや海女の笛
デイケアの会話ちぐはぐ麗かに
無人駅桜の花でおもてなし
潔し花雑踏に凜と散る
電話番号かねてテレビを見る日永

岩井鬼童選
建部三由紀
長副美恵子
松岡 薫枝
桂 啓子
岩井 童子
西田 真美
清原サヨ子
二宮 正人
植木 チエ

れんげつむ少女のほほは恋の色
園児たち足にぎやかに遠足す
落の臺句会
絡み合ひ飛び交ふ雨後の蝶二つ
節くれの手足は履歴和布干す
葉を透さし鳴き声風の百千鳥
風に揺れ自在変化の花筏
山麓の 一戸 励ます 鯉錦
奈良恋へば七堂伽藍八重桜
たちまちに化けたる妻の花衣

岩井鬼童選
小六西田 咲笑
小三西田 芽生
池田 駒女
大井 良治
木村 誠一
千手 弘子
高津 澄子
藤井耿之介
山本ひろし

四季の歌

心映の投句 俳句・短歌教室の詠歌紹介

福智山町おきざりに霞みけり
引く鴨に湖渺々と波の綺羅
教へ子もいつしか親に鯉職
可愛さは曾孫の任草花辛夷
入学の制服買ひの親子かな
詩を読み今日も元気に過ごしけり
立ち初めし孫の一步や春の風

岩井鬼童選
馬郡 京子
熊谷カツミ
大久保幸子
日高八重子
福島ソマ子
井上サワ子
山田 花子



DATE: Jun.2019 NO: 010

●最先端の電話機

坑内電話

かつて炭鉱産業で栄えていた福智町。地上の事務所から200m以上地下にある坑道への業務連絡は有線で繋がっていた坑内電話が使用され、私たちが普段使用している携帯電話がなかった時代、地上と地下を繋ぐ唯一の連絡手段とし

炭塵爆発に備えて防爆装備された坑内電話

て重宝されていました。町内で実際に使用されていた坑内電話は、図書館・歴史資料館「ふくちのち」で展示中です。

●観光サイト「ゆた〜とふくち旅」へ→



町の魅力はHPもチェック!

